

## テーマ かさ

しよめい	しよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
ボリスとあおいかさ	ディック・ブルーナー／さく かどの えいこ／やく	講談社	SEホン	ボリスはあおいかさをもって、さんぽにでかけました。あめはすぐにやみましたが、つよいかぜがふいてきました。びゅうびゅう！ボリスはかさといっしょにくものなかへとばされてしまいます。ボリスはじめんにおちてくるまで、ぼうけんをたのしみました。
かさ	松野 正子／さく 原田 治／え	福音館書店	SEホン	あめがふってきた。ながぐつはいてかささしてかえろう。わたしのかさは、あかいかさ。きいろいかさ、あおいかさのこもいる。あめのなか、かさをさかさにこままわし、かさをたたんでけんだぞう。かさがないこはいれてあげる。あめのひがたのしくなるえほんです。
かさもっておむかえ	征矢 清／さく 長 新太／え	福音館書店	Eホン/チ	かさをもっておとうさんをおむかえにいったかおるは、えきでふしぎなねこにあいました。ねこにいわれるままかおるは、いろのちがうでんしゃにのりました。のっていたのはどうぶつたちでした。かおるは、おとうさんにあえるのかしんぱいになってきました。
おじさんのかさ	佐野 洋子／作・絵	講談社	Eホン/サ	おじさんのかさは、とてもりっぱ。だからあめがふってもさしません。だってかさがぬれるからです。でも、かさをさしたおんなのこととおこのこが、「あめがふったらポンポロン」とうたいます。ほんとかな？おじさんは、たしかめてみたくになりました。
かさどろぼう	シビル・ウェタシン／さく いのくま ようこ／やく	福武書店	Eホン/ウ	キリ・ママはうまれてはじめてまちでかさをみました。キリ・ママは「なんてきれいでべんりなものだろう。」とおもい、かさをいっぽんかってかえりました。しかし、むらにかえってひとやすみしたあとにかさがなくなっていることにきがつきました。
かさの女王さま	シリン・イム・ブリッジズ／作 ユ・テウン／絵 松井 るり子／訳	セーラー出版	Eホン/ユ	ちいさな女の子ヌットの村は、むかしからかさをつくっています。かさのもようは花とチョウときまっていて、まいとし、いちばんじょうずな絵つけのおんなのひとが「かさの女王さま」にえられます。ヌットも絵つけをゆるされますが、ほんとうにかきたいものは…。